



民主党神戸市会議員団 川原田弘子ニュース

ひろこだより

VOL. 12



神戸の生物多様性のシンボルキャラクター、カワバタモロコ、ココのキンタン・ギンタンです。

カワバタモロコ

西区のため池などに棲むカワバタモロコは、絶滅が危惧されるレッドデータブックにも記載されています。繁殖の時期、オスは美しい金色になります。

～神戸・垂水の道路事情～

神戸は、山と海に囲まれた街。垂水は、東に鉄拐山・旗振山・鉢伏山を望んで、坂道の多い街。住宅の開発が早い時期から進んでいることもあって、歩道のない道路や、拡幅が困難な道路、更には、交通渋滞など、道路の課題は多いですね。

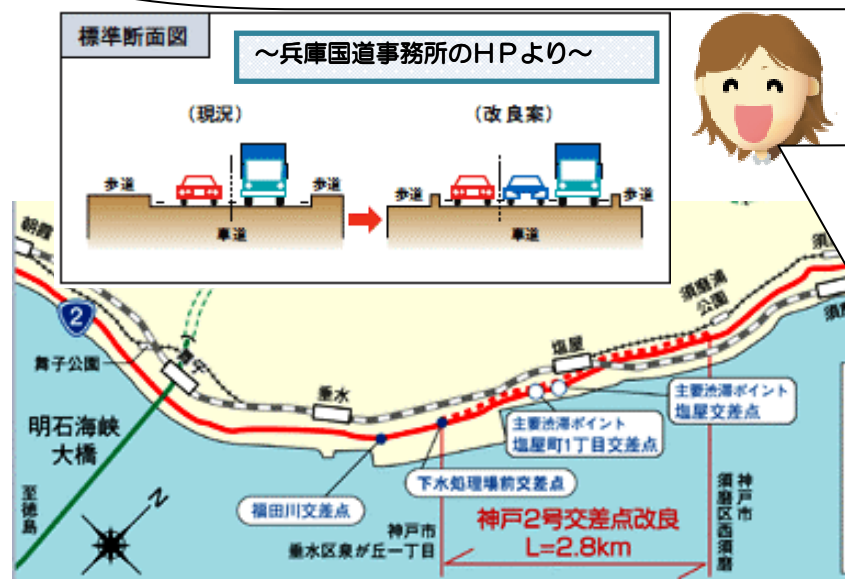
道路の整備には、高齢者や子どもたちが安全に歩けることや、救急車や消防車の進入といった安全・安心の生活道路としての側面と、一方で、流通や観光を視野に入れた産業・経済の側面があり、両方の面から考えていく必要があります。更には、高速道路の無料化やガソリンの暫定税率廃止の議論から、道路をめぐる財源や負担の在り方が大きな課題として取り上げられてきています。道路整備の優先順位や必要性、どんな道路にしていけるべきか、を、地域に住む私たち自身が考えて決めていく時代がすぐそこにきています。

神戸・垂水の道路事情は、今、どのように進められているのでしょうか。知っておくと便利な知識から、身近な道路、少し広域に至るまでの道路事情を中心にまとめてみました。

国道2号線の渋滞対策について

まず、垂水から須磨にかけての国道2号線の渋滞対策は、今、どうなっているのでしょうか？私が議員になりたての平成15、16年ごろ、国が3車線化を進めるという説明を受けて、3本目の道路の向きはどうするんだろうか？とか、「リバーシブルレーン」（たとえば朝と夕方車線の方向が逆転するレーン）は可能だろうか？など、いろいろ考えたものでした。3本目の車線、下水処理場のところくらいまで進んではいるようですが、そのあと、どうなったのか、よくわかりません。

進捗状況も含めて、確認しました。実は、前に進んでいるんですね。

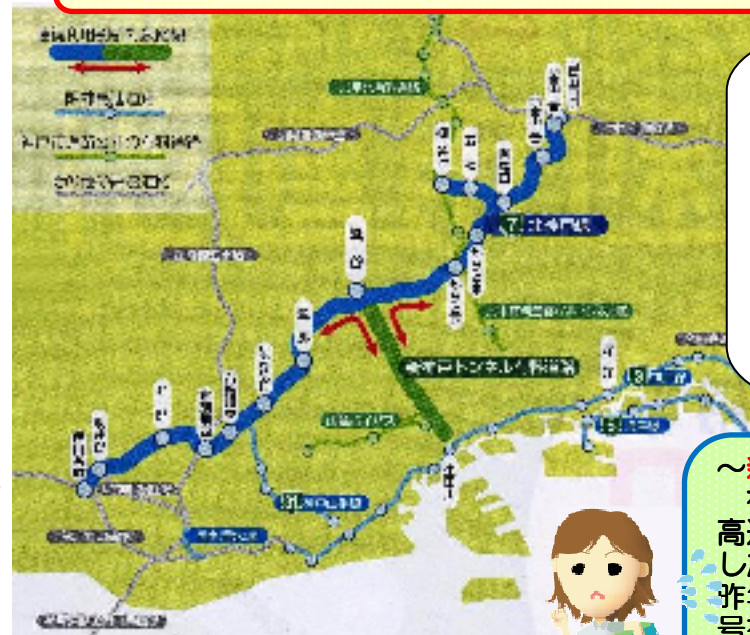


確認した結果、

- 計画は東行き2車線整備が進められている。
- これまで、塩屋駅南の「管公橋」付近の、JR線をまたぐ地点の工事について、JRとの協議が行われていた。
- JRと国道事務所の協議が終了し、工事をJRに委託することで協定済み。
- H21年度～H23年度にかけて、「管公橋」の拡幅工事を実施する。

ということでした。鉄道をまたぐ工事になるため、調整に時間がかかったようです。

新神戸トンネル・阪神高速7号北神戸線の連続利用割引



H21年4月から、一般道の渋滞を減らすために割引が行われています。新神戸トンネルを、阪神高速北神戸線と連続して使うと、

普通車 ￥300 大型車 ￥600

のETC料金割引があります。更に、北神戸線のETC割引と併せて、土日に有馬温泉に行って、帰りに三宮に寄る場合、普通車で￥1100のところ、**￥650**（￥450の割引）となります！！

～新神戸トンネルと阪神高速のネットワーク化について～

神戸市や、議会から、国に対して、新神戸トンネルを阪神高速と一体管理し、ネットワーク化できるよう、求めてきました。上記の割引実施は、そうした要望が背景にあります。昨年3月に、阪神高速の事業認可を行う際、議会から、「3号神戸線との連続割引」「対距離制になる場合は、新神戸トンネルも組み込むこと」の2点を附帯した上での同意としました。

阪神高速31号神戸山手線と阪神高速3号神戸線の接続について



31号山手線は、現在、長田出入口までとなっていますが、3号神戸線との連結となる南伸化工事が進められています。(H23年春開通予定)

新湊川沿いに、

- ① 神戸高速鉄道
- ② 市営地下鉄
- ③ JR山陽本線
- ④ 県道神戸明石線
- ⑤ 国道2号線

という重要な道路や線路と交差する、厳しい条件下、トンネル構造での工事が行われています。

～湾岸線「大阪湾岸道路西伸部」について～

昨年3月、都市計画のみ決定していますが、その後進捗はありません。

